

Bulletin 186

2005年2月号

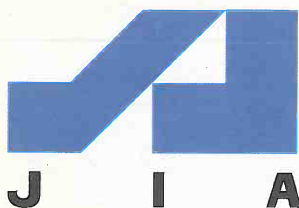
平成3年4月16日第三種郵便物許可 平成17年2月15日発行(隔月15日発行) 第18巻第7号 通巻186号



目次

地球環境圏の持続可能な建築への試み

東海大学工学部建築学科教授	杉本 洋文	2
全国住宅部会の連携を深めよう—庫川プランニング設計	庫川 尚益	5
中国の歴史的街並みおよび建物の調査を終えて	神奈川大学工学部建築学科	松村 崇史氏 6
モダニズム建築 持続への道	夏目設計事務所	夏目 勝也 8
小規模建築用契約書の利用法—その2	アルフィ建築デザイン	森岡 茂夫 10
不信心の解明と安心感	現代設計	松村 和雄 11
学ぶ場としての市民との協働	神奈川大学工学部建築学科教授	室伏 次郎 12
HAPPY BARGE	東京大学大学院工学系研究科博士課程	佐々木一晋氏 14
ヒアシンスハウス	永峰綜合計画事務所	永峰 富一 16
ドキュメント「新潟県中越地震とJIA」	上山寛アトリエ	上山 寛 18
建築技術とデザイン、最新オフィスビルについての事例	中村雅子デザイン事務所	中村 雅子 20
第三者監理問題について	クリエート山本設計室	山本 智雄 21
こんな本でました：渡辺武信著『住まいのつくり方』		21
会員の皆様	松田平田設計	星野 真人 22
「JIAとして社会に発言していく」ということ	インターセクション	高木 恒英 22
入札問題の原点	左知子建築設計室	左 知子 23
追悼：清瀬永	小林・盛設計事務所	小林 道夫 24
選挙公報		25
イベントセミナー情報		26
支部長のアルバイト—その2	松原建築D・I研究所	松原 忠策 27
編集後記		27



社団法人 日本建築家協会
The Japan Institute of Architects

関東・甲信越支部
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA 館
Tel: 03-3408-8291 Fax: 03-3408-8294



建築技術とデザイン、最新オフィスビルについての事例

建築家のイメージを実践するためのカーテンウォール専門技術者との共同作業を通して設計、技術者に聞く



中村 雅子

現場が一段落したある一日、我が事務所スタッフ2人とともに3つの建築、そしてファブリケーターとを訪れる機会を持った。

テーマは最新オフィスビルデザイン

その集合場所が日比谷の三信ビル（横河工務所、松井貴太郎設計、1929年）。まず、私はここを見学。何度か訪れてはいるが、今も往時のたたずまいを残した内部吹抜けやエレベーター回りは今も新鮮。テナントもコーラをびんで出すような喫茶店からロゴや随所のデザインも秀囲気たっぷり。ここをスタートとした発案者に敬意を表したい。



をびんで出すような喫茶店からロゴや随所のデザインも秀囲気たっぷり。ここをスタートとした発案者に敬意を表したい。

新日軽船橋工場では建築家とのコラボレーションに応えるべく熱意あふれる技術者の話を伺った。SUSかと有難うざびん。住空間に近いやすらぎを備えた空間のニーズがある、ということであろう。私がとても興味深かったのは構造設計を担当したO. アラップ氏のカーテンウォール支持金物のスタディスケッチであった。何段階にも渡り実施に向けての考える過程がよくわかった。私が常日頃、設計において一番大事にしたいと思っていることである。

室町三井新館新築工事現場では東京都での「重要文化財特別型特定街区制度」適用第1号として容積率の割増を有効に利用し、重要文化財三井本館を機能的にも活用



し得る連続性と一体感を持った超高層複合ビルとして計画している。

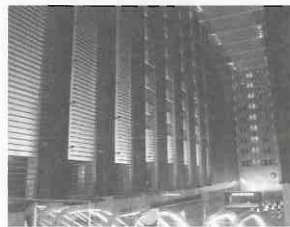
なるほど、調和を第一優先に高さや材料、ディテール

を解いていったとの説明に実際、現場を見て納得した。ここにはマンダリンホテルが、高層階に入るそう。標準客室（1～2人用）が42m²（標準ホテルの倍）、浴室も在来工法による設計らしい。内部は一面が壁天井一杯の開口部（カーテンウォールの最大面積？）で眺めも素晴らしい。贅沢な設計と感心した。

2007年にはすぐ横にペニンシュラホテルが出来るそうです。これからのホテルは超高級とリーズナブルの

二極化か？ 対抗層としてはパークハイアット辺りであろう。

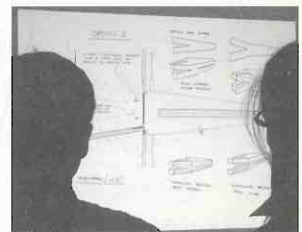
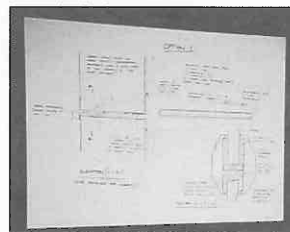
汐留住友ビルはすでに竣工済みであったが、幸いにも



未入居のオフィスフロアを見学できた。設計は日建設計とのことで、クールな建物かと想像していたら、ぐっとホテル仕様のデザインで意外だった。アトリウムは材料・デザインそして間接照明を主とした3000K（ケルビン）の色温度の光に暖かみを感じた。昨今のオフィス空間は動から静のデ



ザビーン。住空間に近いやすらぎを備えた空間のニーズがある、ということであろう。私がとても興味深かったのは構造設計を担当したO. アラップ氏のカーテンウォール支持金物のスタディスケッチであった。何段階にも渡り実施に向けての考える過程がよくわかった。私が常日頃、設計において一番大事にしたいと思っていることである。



最後に、私はJIAに入会してやっと半年、なのに今回はスタッフ含めて3人で参加させて頂きました。一番の思い出はバスで配られたお弁当の美味しかったこと！これで無料とは申し訳ない。皆さんも時間を見つけて是非、参加して下さい。企画後援頂いた方々、ありがとうございました。とても有意義な一日でした。

〈一級建築士事務所 中村雅子デザイン事務所〉